

児童発達支援ガイドライン

○課題や改善すべき点の検討結果を踏まえ、速やかに改善の対応を図る、若しくは、立てられた改善目標に沿って、支援を改善していく。

別紙1

児童発達支援自己評価表

事業所職員向け

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|---------|---|---|----|-----|---|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 15 | 1 | 保育スペースはワンルームなので、少なくとももう一部屋あるといい。スペースを分ける仕切りで対応している。クールダウンの部屋が欲しい。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 16 | | |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 15 | 1 | 男子小便器、女子小便器1つずつ足りない |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 16 | | 2歳から6歳までの子どもがワンフロアで一緒に活動するのは無理があるので、せめて、低学年、高学年に分けられるスペースが欲しい。 |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 16 | | |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 16 | | |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 16 | | |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | 16 | |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 16 | | |

| | | | | | |
|----------|--|---|----|---|--|
| 適切な支援の提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | 16 | | |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 16 | | |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 16 | | |
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 16 | | |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 16 | | |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 16 | | |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか | 16 | | |
| | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 16 | | |
| | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 15 | 1 | |
| | ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 16 | | |
| ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 15 | 1 | | |

| | | | | | |
|--------------|---|--|----|---|------|
| 関係機関や保護者との連携 | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 14 | 1 | 未回答1 |
| | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | 15 | | 未回答1 |
| | ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | 14 | 1 | 未回答1 |
| | ㉔ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | 14 | 1 | 未回答1 |
| | ㉕ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 16 | | |
| | ㉖ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 15 | | 未回答1 |
| | ㉗ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 15 | | 未回答1 |
| | ㉘ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 16 | | |
| | ㉙ | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | 14 | 1 | 未回答1 |
| | ㉚ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 16 | | |
| | ㉛ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか | 14 | 1 | 未回答1 |

| | | | | | |
|--|----------------------------|---|--|----|------|
| 保 護 者 へ の 説 明 責 任 等 | ⑳ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 16 | | |
| | ㉑ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 16 | | |
| | ㉒ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 16 | | |
| | ㉓ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 16 | | |
| | ㉔ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 16 | | |
| | ㉕ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 16 | | |
| | ㉖ | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | 16 | | |
| | ㉗ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 16 | | |
| | ㉘ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 12 | 4 | |
| | 非 常 時 等 対 応 | ㉙ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | 16 | |
| ㉚ | | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 16 | | |
| ㉛ | | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか | 16 | | |
| | ㉜ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 16 | | |
| | ㉝ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 16 | | |
| | ㉞ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 16 | | |
| | ㉟ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | 15 | | 未回答1 |

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

保護者等向け 児童発達支援評価表

別紙2

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 |
|------------------|---|--|----|---------------|-----|-------|--|
| 環境・ 体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 13 | 3 | | | |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 16 | | | | マンツーマンで付いていただけて安心です。 |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境 i になっているか。また、障害の特性 に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている か | 15 | 1 | | | |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境 になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 16 | | | | |
| 適切な 支援の 提供 | ⑤ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画 iiが作成 されているか | 16 | | | | |
| | ⑥ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内 容が設定されているか | 14 | | | 2 | 児童発達支援ガイドラインの言葉とはどういうことを言っているのか理解しがたい。先生方はとても良くしていただいていると思います。 |
| | ⑦ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 15 | | | 1 | |
| | ⑧ | 活動プログラム iiiが固定化しないよう工夫されているか | 15 | | | 1 | |
| | ⑨ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 11 | 3 | | 2 | |

| | | | | | | | |
|----------|---|---|----|---|--|---|---|
| 保護者への説明等 | ⑩ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 16 | | | | |
| | ⑪ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 16 | | | | |
| | ⑫ | 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われているか | 14 | | | 2 | |
| | ⑬ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか | 16 | | | | |
| | ⑭ | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 15 | 1 | | | もう少し頻度が多くても良い |
| | ⑮ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 14 | 2 | | | 他の保護者と会話するタイミングがない 毎回火曜日開催なので都合が悪くて出席しにくい |
| | ⑯ | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 15 | 1 | | | |
| | ⑰ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 15 | 1 | | | |
| | ⑱ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 16 | | | | |
| 非常時等の対応 | ⑲ | 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 16 | | | | |
| | ⑳ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 16 | | | | |
| 満足度 | ㉑ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 16 | | | | |
| | ㉒ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 16 | | | | とても楽しく通わせてもらっています。 別れを惜まず毎日笑顔で登室しています。 明日ひまわり教室行くと前日から楽しみにしている。 |
| | ㉓ | 事業所の支援に満足しているか | 16 | | | | 良いツ円を選ぶ時や子どもの行動で困っている時に相談にのっていただき、最善の選択・対処ができてとても満足しています。 |

(注釈)

i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....

(保護者等の皆様へ)

○ この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和5年3月30日

事業所名

寒川町立ひまわり教室

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------------------------------|---|--|----|-----|---|--|
| 環 境 ・ 体 制 整 備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 15 | 1 | 保育スペースはワンルームなので、少なくとももう一部屋あるといい。スペースを分ける仕切りで対応している。クールダウンの部屋が欲しい。 | お子様の特性に合わせて仕切りなどを活用して快適なスペースを確保するように努めます |
| | ② | 職員の配置数は適切である | 16 | | | |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 15 | 1 | 男子小便器、女子小便器1つつ少ない | 施設設備の見直しの検討をします |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 16 | | 2歳から6歳までの子どもがワンフロアで一緒に活動するのは無理があるので、せめて、低学年、高学年に分けられるスペースが欲しい。 | 仕切りなど工夫してそれぞれのスペースの確保に努めます |
| 業 務 改 善 | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 16 | | | 全職員にわかりやすく説明します |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 16 | | | 全職員に周知徹底するように努めます |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 16 | | | 評価の内容を全職員に周知します |
| 適 切 な 支 援 の 提 供 | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | 16 | | 第三者評価の取り組みを行うよう努めます |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 16 | | | 障害者虐待防止、人権擁護の研修を開催しています 引き続き資質向上に努めます |
| 適 切 な 支 援 の 提 供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 16 | | | |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 16 | | | 全職員に周知します |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 16 | | ケース会議を実施して取り組んでいます | 全職員に周知します |

| | | | | | | |
|--------------|---|---|----|---|-------------------------------------|--------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 16 | | | |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 16 | | | 全職員に周知します |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 16 | | 季節に合わせた内容で取り組んでいます | 全職員に周知します |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している | 16 | | | 全職員に周知します |
| | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 16 | | 毎朝朝礼をし、打ち合わせします | 全職員に周知します |
| | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 15 | 1 | | 勤務時間の違う職員にもわかりやすい環境を整えます |
| | ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 16 | | | |
| | ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 15 | 1 | ケース会議を実施して取り組んでいます | 全職員に周知します |
| | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 14 | 1 | 出来るだけ多くの職員の参加に努めています | 全職員に周知します |
| | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 15 | | 保健師や進路先機関との連携に努めています | 全職員に周知します |
| | ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 14 | 1 | 保健師と情報共有するように努めています | 全職員に周知します |
| | ㉔ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 14 | 1 | 医療的ケア児等コーディネーターを配置しています | 全職員に周知します |
| | ㉕ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 16 | | 訪問して引継ぎを行っています | 全職員に周知します |
| | ㉖ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 15 | | 訪問して引継ぎを行っています | 全職員に周知します |
| | ㉗ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 15 | | 心身障害児保育研究会や園長会に参加したり、研修に積極的に参加しています | 順番に全職員が受講できるようにします |
| | ㉘ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | 16 | | 隣接の保育園に遊びに行きます | |
| | ㉙ | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | 14 | 1 | 開催日には出来る限り参加しています | 全職員に周知します |
| | ㉚ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 16 | | おたよりノートを活用したり送迎時に相談します | |
| | ㉛ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 14 | 1 | 月1回の保護者会でを行っています | 全職員に周知します |

| | | | | | | | |
|------------|----|--|----|---|---------------|----------------|--------------------------|
| 保護者への説明責任等 | ③② | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 16 | | | | |
| | ③③ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 16 | | | | |
| | ③④ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 16 | | | | |
| | ③⑤ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 16 | | | 感染症対策を講じて開催します | |
| | ③⑥ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 16 | | | 職員間で情報共有し対応します | |
| | ③⑦ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 16 | | | | |
| | ③⑧ | 個人情報の取扱いに十分注意している | 16 | | | | |
| | ③⑨ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 16 | | | | |
| | ④⑩ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 12 | 4 | | | 感染症対策の緩和に伴い出来るところから実施します |
| 非常時等対応 | ④⑪ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 16 | | | | 全職員に周知します |
| | ④⑫ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 16 | | 月1回訓練しています | | 全職員が取り組めるよう努めます |
| | ④⑬ | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している | 16 | | | | 予防接種の確認にも努めます |
| | ④⑭ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 16 | | | | 全職員に周知します |
| | ④⑮ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 16 | | 専用紙に記入します | | 全職員が共有できるよう努めます |
| | ④⑯ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 16 | | 研修を実施しています | | 全職員が共有できるよう努めます |
| | ④⑰ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 15 | | ケース会議で協議しています | | |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和4年3月31日

事業所名 寒川町立ひまわり教室 保護者等数21人(児童数) 回収数14人 割合66%

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いい | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--------------------------------------|---|---|----|-------------|-----|-------|--|-----------------------------|
| 環 境 ・ 体 制 整 備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 13 | 3 | | | | 公共施設再編計画の中で検討します |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 16 | | | | マンツーマンで付いていただけて安心です | 安心安全な対応に努めます |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 15 | 1 | | | | |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 16 | | | | | |
| 適 切 な 支 援 の 提 供 | ⑤ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか | 16 | | | | | |
| | ⑥ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 14 | | | 2 | 児童発達支援ガイドラインの言葉とはどういうことを言っているか理解しがたい 先生方にはとても良くしていただいていると思います | 制度についてわかりやすい説明に努めます |
| | ⑦ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 15 | | | 1 | | 丁寧な説明に努めます |
| | ⑧ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 15 | | | 1 | | おたよりノートも活用して伝えます |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | ⑨ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 11 | 3 | | 2 | | 感染症対策の緩和に伴い少しずつ隣接保育園で取り組みます |
| | ⑩ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 16 | | | | | |
| | ⑪ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 16 | | | | | |
| | ⑫ | 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか | 14 | | | 2 | | わかりやすい資料など提供します |

| | | | | | | | | |
|-------------------------|---|---|----|---|--|--|--|-----------------------------------|
| | ⑬ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 16 | | | | | |
| | ⑭ | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 15 | 1 | | | もう少し頻度が多くて もよい | 今後も丁寧な対応を心が けます |
| | ⑮ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 14 | 2 | | | 他の保護者と会話するタイ ミングがない 毎回火曜日開催なので都合 が悪くて出席しにくい | 感染症対策の緩和に伴い 出来るところから取り組み ます |
| | ⑯ | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 15 | 1 | | | | 相談しやすい体制づくりに 努めます |
| | ⑰ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 15 | 1 | | | | より丁寧な対応を心がけま す |
| | ⑱ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 16 | | | | | |
| | ⑲ | 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 16 | | | | | |
| 非常時 等 の 対 応 | ⑳ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 16 | | | | | |
| | ㉑ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 16 | | | | | |
| 満 足 度 | ㉒ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 16 | | | | とても楽しく通わせてもらって います 別れを惜しみます毎日笑顔で 登室しています 明日ひまわり教室行くと前日 から楽しみにしている | 引き続き信頼される活動 に努めます |
| | ㉓ | 事業所の支援に満足しているか | 16 | | | | | 引き続き支援の質の向上 に努めます |

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所としてのコメント

職員体制の充実を図るため週3日勤務の会計年度任用職員を2名配置し1日あたり5人以上の職員体制で取り組んでいます。時間給の会計年度任用職員は勤務日が月に1日～10日程度にとどまり、運営規程や利用児の様子、個別支援計画など伝える時間に制約がありますが、より一層の報告、連絡、相談に努め、職員が一丸となって活動できるよう努めます。職員間も保護者とも風通しの良い関係を築き保護者からいただいた貴重なご意見に真摯に向き合い、信頼される質の高いサービス提供に努めたいと思います。